

初夏の風物詩

萱瀬・鈴田地区

ホタルを観に行こう

夏は夜

月の頃はさらさら

闇もなお、ホタルの多く

飛び違ひたる

また、

ただひら

ふたつなど

ほのかにうち光りて

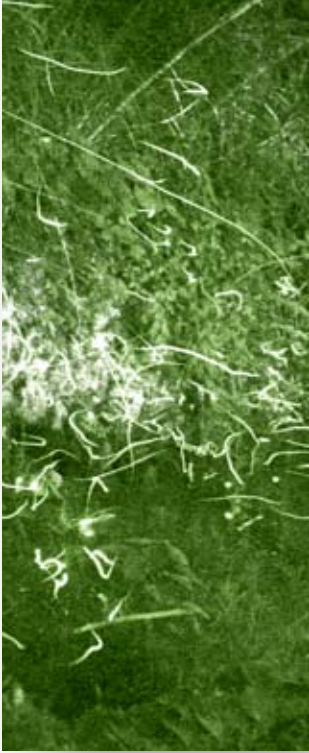
行くもをかし

清少納言『枕草子』

一昔前の農村地区では、夜になると部屋の中にホタルが飛んで来るとも珍しくありませんでした。しかし、最近ホタルがめっきり少なくなっています。ホタルの幼虫のえさになるカワニナが少なくなってしまうのが原因だといわれています。カワニナが住めるきれいな水環境を取り戻す活動が市内各地で取り組まれています。



▼萱瀬地区では、ホタルの里保存会の皆さんが、地域魅力アップ支援事業の助成を受け、ホタルの舞うふるさとづくりに取り組んでおられます。▼鈴田地区の小川内町では、有志の皆さんが小川内川上流の宮之前橋周辺の環境整備に取り組んでおられ、ホタルが生息するようになりました。暗闇に浮かびあがるホタルの幻想的な光を眺めながら、風情あるひとときを過ごすぜひたく。マナーを守って、ホタル鑑賞にお出かけになりませんか。



ホタルの乱舞
(昨年の萱瀬地区の様子)

HOTARU MAP

☆は、ホタル鑑賞ポイントです。



ホタル鑑賞はマナーを守りましょう！

見頃 6月上・中旬、日没1~2時間後から
月明かりが少なく、雨上がりなど湿度が高く風がないなどの条件がそろえば活発に活動します。

- ☆ホタルは明るい場所や排気ガスが苦手です。
 - ・自家用車はホタルの生息地から離れた場所に駐車する。
 - ・懐中電灯の使用やカメラ・携帯電話のフラッシュ撮影は厳禁です。
- ☆絶滅の危機に瀕している希少生物です。
 - ・捕まえたり、手を触れたりしない。
- ☆周辺の住民に迷惑をかけない。
 - ・大声で話したり、車のエンジンをかけっぱなしにしない。

ホタル鑑賞を通して、ホタルの光を絶やさないためにも、普段から川を汚さないなど自然環境を守る運動につなげていきましょう。

鈴田地区

